

IPC TM650 2.3.39Cに準拠した解析を実施します

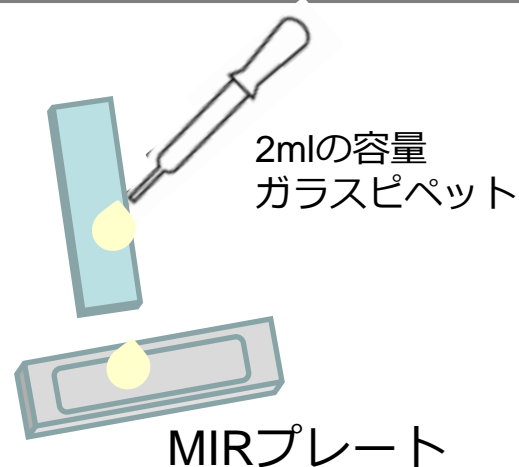
表面有機汚染識別試験 (IR法)

詳細はこちら http://www.oeg.co.jp/env_meas/ipctm650.html

概要 TM 2.3.39Cに準拠した表面有機汚染識別試験 (IR法) を実施します。基板の有機物に関する汚染物質、および汚染レベルの確認が可能です。

- 特長**
- TM 2.3.39Cに準拠した表面有機汚染識別
 - 複数成分がいた場合でも、物質により分離定性が可能 (複数成分検索機能)
 - 識別のさらなる定性分析も追加で可能 (GC-MS定性分析)

アセトニトリル溶剤をガラスピペットにて試料に滴下し、MIRプレート上に受けて乾燥させたものを試料として用います。測定は、赤外分光分析 (FT-IR分析) にて行います。



主要な汚染物質クラスと識別されるとき含有量 (目安)

主要な汚染物質クラス 赤外スペクトル・バンド 有機汚染物質クラス	識別のために必要とされる 含有量 (μg)
エーテル、脂肪族化合物	8.8-9.1
エーテル、アリアル	7.8-8.0
カルボン酸	3.2-4.1 5.8-5.9 6.9-7.1 10.4-10.9
エステル	5.7-5.8 8.0-8.5
アミド	2.8-3.3 5.9-6.5
ニトリル (シアノ)	4.4-4.5
アルコール類 (グリコール、多価 アルコールなどを含む)	2.8-3.1 8.7-9